

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成30年度 徳島県立池田支援学校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長

中内 貴文



1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	中内貴文 新居見猛 名山泰子
学力向上推進員	教諭(教務課長)	高橋陽子
委員	教諭(小学部長) 教諭(中学部長) 指導教諭(高等部学部長) 教諭(教務課長)	吉田恵美 米澤礼子 藤本豊春 高橋陽子

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(高 等 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況			
よ	複数回の施設や企業見学の機会を全生徒に設けたこと、また就労支援チェックリスト(徳島県西部版)を活用することにより、職業や就労に対する理解を深め、自らの働くことに関する考えを深めることができた。	課題 就業体験等の学習活動を通して、社会や職業について自分なりに理解し、将来の進路選択に向けた意識の向上を図ることが必要である。	
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
①将来の進路選択に向けて、学ぶことや働くことについて、主体的に理解する。 ②進路選択に向けた自己理解を深める。		①就労支援チェックリスト(徳島県西部版)を活用して、家庭訪問及び進路相談にて、各1回以上生徒・保護者に説明を行う。 ②前後期の個別の指導計画に就労支援チェックリスト(徳島県西部版)の視点を取り入れて、生徒一人につき、3教科以上作成する。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①就労支援チェックリスト(徳島県西部版)をもとに生徒の実態把握をする。 ②働くことを主体的に考えることができるよう就労支援チェックリスト(徳島県西部版)の視点を取り入れた学習を実施する機会を設ける。 * 中間期の見直し		①家庭訪問及び進路相談において就労支援チェックリスト(徳島県西部版)の結果を活用しそれぞれの生徒の働くことへの意識の向上を図る。 ②将来や今後の進路に向けて、生徒が自分に必要だと考える学習内容を取り入れる。	
達成状況を踏まえた改善事項			